2026 年 10 月 3 日

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、当研究に情報を利用することをご理解いただけない場合につきましても、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

［研究課題名］

手指軟部組織欠損に対する後骨間動脈を用いた遊離組織移植術：3 症例の報告と文献的考察

［研究機関・研究責任者］

帯広厚生病院　整形外科・手外科センター　　研究責任者：寺尾 英将

［研究の目的］

手や指のけがなどによって皮膚やその下の組織が失われた場合、体のほかの部分から皮膚や軟部組織を移植して、傷を覆う手術（皮弁移植術）が必要となることがあります。特に手や指の甲側では、指や腱の動きを妨げないよう、薄く柔らかい組織で覆うことが重要です。当院では、このような手や指の軟部組織欠損に対して、前腕の後骨間動脈という血管を利用した組織を採取し、欠損部へ移植する「遊離皮弁移植術」を行った症例を経験しています。本研究では、この手術を受けた患者さんの診療情報をもとに、けがや欠損の状態、移植した組織、手術方法、手術後の経過や合併症などを調査します。また、これまでに国内外で報告された同様の手術についても調査します。これらを通じて、この手術方法がどのような患者さんや軟部組織欠損に適しているのか、また、安全に手術を行うためにどのような点に注意する必要があるのかを明らかにすることを目的としています。

［研究の方法］

●対象となる患者さん：2020 年 10 月から 2023 年 9 月までに当院整形外科で持続末梢神経ブロックを使用して術後リハビリテーションを行った患者様。

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、病歴情報

②手指可動域や疼痛の情報

③手指機能評価

［個人情報の取り扱い］

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

［問い合わせ先］

JA 北海道厚生連　帯広厚生病院　整形外科　担当医師　寺尾英将

北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地　　電話　0155-65-0101